

# Oracle Private Cloud Appliance X8

Oracle Private Cloud Appliance は、プライベート・クラウドおよびクラウド・ネイティブ・アプリケーションの迅速で自動化された展開用に設計された、機敏でインテリジェントなインフラストラクチャです。顧客が Linux、Microsoft Windows、または Oracle Solaris アプリケーションを実行しているか、コンテナ化されたクラウド・ネイティブ・アプリケーションを実行しているかにかかわらず、Oracle Private Cloud Appliance は中規模から大規模のデータ・センターにおける幅広い混合ワークロードの統合をサポートします。

高性能、低遅延のソフトウェア定義型ネットワーキングは、ストレージ用途とそれ以外のネットワークの自動設定を可能にします。組み込みコントローラ・ソフトウェアは、ボタンを押すだけですべてのインフラストラクチャ・コンポーネントのインストール、設定、および管理を自動化します。

顧客は、基本的な構成パラメータのみを入力して仮想マシン (VM) を手動で作成するか、Ansible および Oracle VM Templates を使用してプロセスを自動化して完全なアプリケーションを数時間で稼働させることができます。Oracle Enterprise Manager を使用すると、Oracle Private Cloud Appliance は強力なプライベート・クラウド・インフラストラクチャに変わり、単一の管理画面から Oracle Cloud Infrastructure と連携して管理できます。

## 企業データ・センター規模でのターンキー・ソリューション

Oracle Private Cloud Appliance は、コンピューティング、ネットワーク、およびストレージのリソースをソフトウェア定義のファブリックに統合して、迅速で効率的なデータ・センターの展開を可能にする、展開が簡単な「ターンキー」ソリューションです。Oracle Private Cloud Appliance を使用すると、ラックあたり 2 から 25 の計算ノードまで、一度に 1 台のサーバーで段階的に拡張できる統合インフラストラクチャが得られます。さらに、Oracle Private Cloud Appliance は、Oracle から [ダウンロード](#) 可能な Oracle VM テンプレートを利用してアプリケーションを迅速に展開します。

さらに、Oracle Private Cloud Appliance は、すでに運用しているオペレーティング・システムをサポートし、オールフラッシュまたはディスクベースのハイブリッド構成による Oracle ZFS Storage



「Oracle Private Cloud アプライアンスを使用すると、投資収益率を計画よりも 30%早く生成することで、成功への戦略を迅速に追跡できました。」

Gustau Serra Salido  
CEO  
Media Cloud

Appliance や、他のベンダーによる NFS または iSCSI ストレージの外部ストレージへの接続により、既存のデータ・センターに容易に適合します。

この統合プラットフォームを活用することで、管理者は、インフラストラクチャの統合と管理に貴重なリソースを投資するのではなく、戦略的ニーズへの対応とビジネスの敏捷性の実現に自由に集中できます。

### 自動電源投入、インストール、および設定

Oracle Private Cloud Appliance を使用すると、ユーザーはラックを所定の位置に移動し、電源ケーブル、ネットワーク・ケーブル、ストレージ・ケーブルを接続して、システムに電源を投入するだけで済みます。内蔵コントローラ・ソフトウェアは、電源投入、インストール、および設定を自動的にハードウェアおよびソフトウェア環境に対して行います。数時間以内にシステムの準備が整い、ユーザーは標準の Oracle VM テンプレートを使用するか最初から作成することで VM を追加できます。

デフォルトでは、Oracle VM / Oracle Linux との使用が認定されているすべての Oracle ソフトウェアが、Oracle Private Cloud Appliance の認定を受けています。これには、Oracle Linux CNE、Oracle Database、Oracle Fusion Middleware、Oracle Applications および Oracle Real Application Clusters が含まれます。

Oracle Private Cloud Appliance は、次の分野で優れた価値を提供します：

- **価値実現までの時間を短縮**. Oracle Private Cloud Appliance は、ハードウェアからアプリケーションへの完全なスタックの展開を高速化するため、数日から数週間ではなく数時間でアプリケーションをユーザーに展開できます。
- **ワイヤワンス・コンバージド・インフラストラクチャで複雑さを軽減**. このソリューションでは、ソフトウェア定義のネットワーク・ファブリックを利用して、サーバーとストレージのインストールと構成をソフトウェアで実行できます。環境を再構成するための物理的な再配線が不要です。
- **総所有コストの削減**. 1つの価格で、仮想化ソフトウェアを含む、必要なすべてのハードウェアとソフトウェアを入手できます。Oracle Linux および Oracle Solaris のプレミアム・サポートも含まれています。さらに、Trusted Partitioning を使用すると、効率的なデータベース・ソフトウェア・ライセンスが可能になるため、使用するコアに対してのみ料金が発生し、システムの全容量に対しては料金が発生しません。
- **高可用性**. Oracle Engineered Systems は、単一障害点がゼロで構築されているため、アップグレードやメンテナンス作業中でもアプリケーションの高可用性も実現できます。これは、オラクルの実績ある MAA (Maximum Availability Architecture) による稼働率が 99.999% の設計を方法を活用しています。さらに、Oracle Site Guard を使用して、複数の Oracle Private Cloud Appliance サイト間に Oracle VM Disaster Recovery を実装できます。
- **将来への投資の保証**. パフォーマンスの需要とビジネスの成長を満たすために、計算とストレージを時間の経過とともに段階的に拡大縮小することによって。このソリューションは、現在使用しているオペレーティング・システムとストレージをサポートすることで、既存のデータ・センターにも統合されます。

### ORACLE LINUX CLOUD NATIVE ENVIRONMENT を使用したアプリケーションの容易なコンテナへの展開

Oracle Private Cloud Appliance は、Oracle Linux Cloud Native Environment を完全にサポートしているため、アプリケーション・コンテナの配置、拡張、管理を容易に自動化できます。Oracle Private Cloud Appliance には、OL CNE (Docker 用の Oracle Container Runtime および Kubernetes で使用する

#### 主な機能

- 組み込みコントローラ・ソフトウェアは、ハードウェアとソフトウェアの導入を自動化します
- コンテナ化されたアプリケーションの配置、拡張、管理を自動化するための Oracle Linux Cloud Native Environment (OL CNE) のサポート
- サービスクラウド管理としての統合 IT のための Oracle Enterprise Manager と統合
- Oracle VM が含まれています
- Oracle Linux および Oracle Solaris のプレミアム・サポート
- Oracle VM テンプレートのサポートにより、数日ではなく数時間でアプリケーションをデプロイできます
- トラステッド・パーティショニングにより、効率的なデータベース・ソフトウェア・ライセンスが可能になります。
- ゼロダウンタイムアップライアンスのアップグレード
- 「ワイヤワンス」設計により、運用上の複雑さが軽減
- 完全なハードウェアおよびソフトウェアスタックに対する単一ベンダーのサポート

るための Oracle Container Services) のサポートが付属する、Oracle Linux のプレミアム・サポートが含まれています。

Oracle Linux Cloud Native Environment のコンポーネントは、[Oracle Linux yum](#) サーバーまたは [Oracle Container Registry](#) から入手できます。

Docker 用 Oracle Container Runtime を使用すると、Oracle Linux システムおよび Docker をサポートする他のオペレーティング・システム間でアプリケーションを作成および配布できます。Docker 用 Oracle Container Runtime は、アプリケーションをパッケージ化して実行する Docker Engine と、Docker Hub、Docker Store および Oracle Container Registry と統合して SaaS (Software-as-a-Service) クラウドでアプリケーションを共有することで構成されています。Oracle Container Registry は、Docker Container イメージとしてパッケージ化された信頼できる Oracle ソフトウェアのソースです。

Kubernetes は、コンテナ化されたアプリケーションの展開、拡張、管理を自動化するためのオープン・ソースのシステムです。主に、Kubernetes は、コンテナ化されたアプリケーションを展開し、必要に応じて拡張できるシステムのクラスタを簡単に作成するためのツールを提供します。Kubernetes で使用するための Oracle Container Services は、Oracle Linux 7 で完全にテストされており、Kubernetes クラスタの構成と配置を容易にするために Oracle で開発された追加のツールが含まれています。

### ORACLE ENTERPRISE MANAGER を使用することによってクラウド・サービスを容易に構築および管理

Oracle Private Cloud Appliance の展開に Oracle Enterprise Manager を追加することで、データ・センター内のプライベート・クラウドを迅速に構築および管理し、Infrastructure as a Service (IaaS) や Database as a Service (DBaaS) などのサービスを提供できます。Oracle Enterprise Manager を使用すると、ビジネス管理者や開発者はクラウド管理者がガバナンスを一元管理できるようにしながら、クラウド・サービスに迅速かつセルフサービスでアクセスできます。セルフサービス・ユーザーと管理者の両方が使用状況データにアクセスし、チャージ・バック・レポートを作成してサービス消費を評価できます。Oracle Enterprise Manager を使用すると、単一のダッシュボードからすべての Oracle Private Cloud アプライアンスおよび接続されている ZFS ストレージ・アプライアンスを管理できます。

### 効率的なライセンス利用により TCO を削減

Oracle Private Cloud Appliance は「Trusted Partitions」をサポートしているため、顧客はシステムの総容量ではなく、使用状況に基づいて Oracle ソフトウェアのライセンスを柔軟に取得でき、効率的なソフトウェア・ライセンスが可能になります。

### 最高のエンタープライズ・ストレージ・パフォーマンス

Oracle Private Cloud Appliance は、Oracle ZFS Storage Appliance ZS7-2 と 100 TB の使用可能容量を統合しています。Oracle ZFS Storage ZS7-2 は、要求の厳しいエンタープライズ・アプリケーションと予測不可能なクラウド・ワークロードに必要な優れたパフォーマンスと優れた効率を備えた、スケラブルでユニファイドなストレージを提供します。次の機能を提供するために Oracle Private Cloud Appliance と共同設計されています：

#### 主なビジネス上の利点

- アプリケーションをより早くデプロイすることで、製品化までの時間を短縮する
- インストールおよび構成にかかる時間を数百時間節約
- 完全にサポートされている Oracle Linux Cloud Native Environment によるアプリケーションの移植性
- コンテナ化されたアプリケーションの展開、拡張、管理を自動化
- 継続的なソフトウェア・ライセンスとサポート・コストを削減
- 1つのシステムに混在するワークロードを統合して管理を簡素化
- Oracle Enterprise Manager を使用してクラウド・サービスを簡単に管理する
- 一度に 1 ノードずつ計算を簡単に拡張することで投資を保護
- ネットワークとストレージを完全に分離して、最大 8 個のテナントグループを簡単に分離

- **Oracle Private Cloud Appliance に展開されたアプリケーションおよびワークロードのパフォーマンスを加速させます。** OLTP データベースなどの IOPS を多用するワークロード、およびデータ・ウェア・ハウス、ビジネス・インテリジェンス分析、ビデオ処理などの帯域幅主導のワークロードに最適化されています。さらに、Oracle Database の独自の Hybrid Columnar Compression 機能を Oracle Private Cloud Appliance と組み合わせて使用すると、データ・ウェア・ハウスに必要なストレージの量が削減されます。
- **高度な管理ツールとリアルタイム分析ツール、**これにより、顧客は特定のワークロードを視覚化してドリル・ダウンし、輻輳が発生する場所と原因を理解できます。さらに、VM レベルに至るまで、Oracle Private Cloud Appliance 環境のストレージの側面を調査および管理することさえ可能になります。

### システムの拡張性と成長のための将来の投資

Oracle Private Cloud Appliance は、ビジネスニーズが時間の経過とともに増大するにつれて、コンピューティングとストレージの両方の観点から拡張性が高くなるように構築されています。1 台の Private Cloud Appliance ラックは、サーバーを差し込むだけで、一度に 1 ノードずつ、2~25 台のコンピュータ・ノードに拡張できます。付属のコントローラ・ソフトウェアは、このノードを自動的にプロビジョニングして VM プロビジョニングの準備を整えます。

さらに、顧客の作業負荷が増大するにつれて、Oracle ZFS Storage Appliance ZS7 に最大 15 台の追加ディスク・シェルフを接続することで、単一ラックの ZFS ストレージを拡張できます。ZS7 用のストレージ拡張トレイは、Oracle Storage Drive Enclosure DE3-24C と DE3-24P オールフラッシュ・ディスク・シェルフのさまざまな組み合わせが可能です。

### 主なソフトウェアコンポーネント

Oracle Private Cloud Appliance に含まれる次のソフトウェアは、スケーラビリティ、ソフトウェア定義型ネットワーク、および GUI ベースの管理を可能にします:

- **Oracle VM Server.** Oracle VM サーバーの仮想化は、非常にスケーラブルで、迅速なアプリケーションの展開を可能にするように構築されています。Oracle VM は、最大 128 の vCPU と、Linux、Oracle Solaris、Microsoft Windows などのさまざまなゲストをサポートします。Oracle Database や Oracle Enterprise アプリケーションなどの Oracle アプリケーション・スタック全体を、[Oracle VM テンプレート](#)を使用して数分から数時間で配置できます。アプリケーションを迅速かつ容易に拡張性の高い仮想化環境に展開できるため、IT 部門は SLA に対応し、ビジネスの市場投入までの時間を短縮できます。
- **Oracle Private Cloud Appliance コントローラ・ソフトウェア.** コントローラ・ソフトウェアを使用すると、ユーザーはシステム・ハードウェアの管理と監視、ソフトウェアのアップグレード、仮想リソース（仮想サーバー、仮想ネットワーク、ストレージ）の作成と管理、そしてすべてのシステムリソースの使用率のリアルタイム監視を行うことができます。コントローラ・ソフトウェアは、障害発生時に自動フェイルオーバーを備えた高可用性用に構成された 2 つの専用管理ノード上で動作します。GUI ダッシュボードからアクセスできます。

さらに、Oracle Private Cloud Appliance 用に次のソフトウェアコンポーネントをダウンロードできます:

- **Oracle Enterprise Manager**

### Oracle Private Cloud Appliance

Oracle Private Cloud Appliance は、Oracle Linux Cloud Native Environment を使用して仮想マシンおよびアプリケーション・コンテナにアプリケーションを安全にデプロイするための IaaS を提供します。

### 関連製品

- Oracle Private Cloud at Customer
- Exadata Cloud at Customer
- Oracle Enterprise Manager
- Oracle VM
- Oracle Linux

### 関係サービス

以下のサービスは Oracle Private Cloud Appliance をサポート:

- Advanced Customer Services
- Oracle Premier Support for Systems
- Oracle Platinum Services
- Oracle Consulting Services
- Oracle University
- Oracle Consulting Services

- Oracle Linux
- Oracle Solaris

## 主なハードウェア・コンポーネント

Oracle Private Cloud Appliance ラックは、次の主要ハードウェア・コンポーネントで構成されます:

- **コンピュータ・ノード.** 計算ノードは、ソケットあたり 24 コアの 2 つの Intel® Xeon® プロセッサを搭載した Oracle Server X8-2 システムです。X8-2 コンピュータ・ノードは、384GB、768GB、1.5TB の 3 種類のメモリ構成で注文できます。前世代に比べて 45% のパフォーマンス向上を実現した Oracle Server X 8-2 は、エンタープライズ・アプリケーションに最適なコア、メモリ、および I/O スループットのバランスを提供します。

各コンピュータ・ノードは、サーバー仮想化を提供するために x86 用の Oracle VM Server を実行します。コンピュータ・ノードは、停止時間なしで Oracle Private Cloud Appliance 構成に追加または削除できます。Private Cloud Appliance ラックは最大 25 個のコンピュータ・ノードをサポートできます。

- **スイッチ.** Private Cloud Appliance の内部ネットワークおよび管理ネットワークに使用されるイーサネットスイッチ。使用されているスイッチの種類は次のとおりです:
  - **リーフ・スイッチ** - Private Cloud Appliance の内部ハードウェア・コンポーネント（コンピュータ・ノード、システム・ディスク、管理サーバー）間的高速内部通信に使用される 2 台の 36 ポート 100GbE スイッチ
  - **スパイン・スイッチ** - Private Cloud Appliance と他のエンジニアド・システムまたはストレージ・ソリューションとの間的高速内部通信に使用される 2 台の 36 ポートの 100GbE スイッチ。スパイン・スイッチはネットワークのバックボーンを形成し、ルーティング・タスクを実行します。
  - **管理スイッチ** - Private Cloud Appliance のすべての内部ハードウェア・コンポーネント（コンピュータ・ノード、システム・ディスク、ファブリック・インターコネクタ、管理サーバー）を容易に管理するために使用される 1 台の 48 ポートスイッチ

高速低遅延 SDN は 100GbE リーフおよびスパイン・スイッチの上に実装されています。これらは、内蔵ラック・コンポーネント間のすべての通信に 100GbE 接続を提供し、顧客データ・センターへの柔軟な 10/25/40 または 100GbE での接続を可能にします。

- **統合ストレージ.** Oracle Private Cloud Appliance は、管理環境を一元的に保存し、VM で実行される要求の厳しいエンタープライズ・アプリケーションに必要な最高のパフォーマンスと優れた効率を提供するための、完全統合されたエンタープライズ・グレードの Oracle ZFS Storage ZS 7-2 を備えています。このストレージ・サブシステムは、最大限の耐障害性と製造時の保守容易性のために完全に冗長になるように設計されています。Oracle Private Cloud Appliance ストレージ・サブシステムには、最も要求の厳しいファイル・ストレージ・ワークロードの下で最適な読み書きパフォーマンスを実現するための高性能 DIMM とフラッシュ・メモリが搭載されています。

「Oracle Private Cloud Appliance には、お客様のアプリケーションを仮想環境でホストするために必要なものがすべて含まれています。そして、それは私たちの多様な顧客のニーズを満たすのに十分に用途が広いです。」

**David Busch**  
CEO  
Tier1 Inc.

Oracle Private Cloud Appliance のストレージ容量は、統合ストレージから Oracle ZFS Storage Appliance を含む外部データ・センター・ラック、または他のストレージ・ベンダーから入手可能なサポートされているストレージまで拡張できます。デフォルトでは、Oracle VM との使用が認定されている外部の Oracle または Oracle 以外のストレージ・アプライアンスは、Oracle Private Cloud Appliance と統合をサポートします。サポートされているサード・パーティ製ストレージ・システムのリストについては、[ハードウェア認定リスト](#)を参照してください。

## ORACLE PRIVATE CLOUD APPLIANCE のハードウェア仕様

### Oracle Private Cloud Appliance X8-2 ハードウェアおよび環境仕様

コンポーネント/属性	ORACLE PRIVATE CLOUD APPLIANCE X8-2 の詳細
Oracle Server X8-2 管理ノード: 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 個の Intel® Xeon®5218 2.3 GHz、16 コアプロセッサ (合計 32 コア)</li> <li>12X32 GB DDR4 DIMM (合計 384 GB RAM)</li> <li>2 台の 1.2 TB HDD (RAID 1)</li> <li>1 枚のデュアルポート 100Gbit イーサネット HCA (CX5)</li> <li>1 つの GbE 管理ポート (BASE-T)</li> <li>1 G ビット+ 2 X 10/25 G ビット組み込みイーサネットポート</li> <li>冗長電源装置、冷却ファン、およびディスク</li> </ul>
Oracle Server X8-2 コンピュート・ノード: <b>2 から 25*</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 台の Intel® Xeon®8260 2.4 GHz、24 コア、165 ワットプロセッサ (合計 48 コア)</li> <li>384GB、768GB、1.5TB RAM の 3 つのメモリ構成</li> <li>2 台の 1.2 TB HDD (RAID 1)</li> <li>1 Gbit + 2 つの 10/25 Gbit Embedded Ethernet ポート</li> <li>1 枚のデュアルポート 100Gbit イーサネット HCA (CX5)</li> <li>1 つの GbE 管理ポート (BASE-T)</li> <li>ホットスワップ対応および冗長ディスク、冷却ファン、電源装置</li> </ul>
*使用する PDU が 24 KVA の場合、最大 25 台のサーバーが可能です。22 KVA PDU の場合、計算ノードの最大数は 22、15 KVA PDU の場合、最大数は 13 です。	
Oracle ZFS Storage ZS7-2: <b>デュアル・コントローラ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 台の 7.68 TB の Readzilla SSD (リード・キャッシュ)</li> <li>20 台の 14 TB シリアル接続 SCSI (SAS) HDD (100 TB 使用可能)</li> <li>2 台の 200 GB 書き込みフラッシュ・アクセラレータ</li> </ul>
リーフ・データ・スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 台の QSFP28 ポートを使用した 36 ポート 10/25/40/100 Gbps フレキシブル・スピード・スイッチ</li> </ul>
スパイン・データ・スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 台の QSFP28 ポートを使用した 36 ポート 10/25/40/100 Gbps フレキシブル・スピード・スイッチ</li> </ul>
管理スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 台の 48 ポートイーサネットスイッチ</li> </ul>
電力 (ワット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大時(ベース/フル): 7,551 / 22,593</li> <li>標準時(ベース/フル): 5,286 / 15,815</li> </ul>
冷却 (BTU/時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大時(ベース/フル): 25,779 / 77,133</li> <li>標準時(ベース/フル): 18,045 / 53,993</li> </ul>
エアフロー (CFM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大時(ベース/フル): 1,193 / 3,571</li> <li>標準時(ベース/フル): 835 / 2,500</li> </ul>

コンポーネント/属性	ORACLE PRIVATE CLOUD APPLIANCE X8-2 の詳細
重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラック（輸送パレット込み）（ベース/フル）: 530kg (1170 ポンド)/ 970 kg (2,138 ポンド)</li> <li>設置済みのラック（ベース/フル）: 420kg(927 ポンド)/ 860 kg (1,897 ポンド)</li> </ul>
動作温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>摂氏 5 度～32 度（59 度～89.6 度）、相対湿度 10%～90%、結露しないこと</li> <li>最高使用温度：最大 10,000 フィート（3,048 m）、最高周囲温度は 900 m を超える 300 m ごとに 1℃ディレーティングされます。ただし、規制により設置が最大高度 6,560 フィート（2000 m）に制限される場合があります。</li> </ul>
物理寸法	<ul style="list-style-type: none"> <li>高さ: 42U, 78.66 インチ 1998 mm</li> <li>Width: 23.62 インチ – 600 mm</li> <li>Depth: 47.24 インチ – 1,200 mm</li> </ul>
事前インストール済みソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>Oracle Private Cloud Appliance controller</li> <li>Oracle VM Server</li> <li>Oracle VM Manager</li> <li>Storage Operating System Software</li> </ul>
ダウンロード可能なソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>Oracle Enterprise Manager 13c</li> <li>Oracle Linux</li> <li>Oracle Solaris</li> </ul>
準拠規格 <sup>2,3</sup>	<p><b>安全性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>UL/CSA 60950-1, EN 60950-1, IEC 60950-1 CB スキーム、各国の規定に準拠</li> <li>EMC</li> <li>エミッション: FCC CFR 47 Part 15, ICES-003, EN 55032, EN61000-3-11, EN61000-3-12</li> <li>イミュニティ: EN 55024, KN35</li> </ul>
認定規格 <sup>2,3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北米（NRTL）、欧州連合（EU）、国際 CB スキーム、BIS HSE 免除(インド)、EAC(EAEU)、BSMI（台湾）、RCM（オーストラリア）、MSIP（韓国）、VCCI（日本）</li> </ul>
EU 指令 <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2014/35/EU 低電圧指令</li> <li>2014/30/EU EMC D 指令</li> <li>2011/65/EU RoHS 指令</li> <li>2012/19/EU WEEE 指令</li> </ul>
サポート・サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハードウェア保証：通常の営業時間内に 4 時間の Web /電話対応で 1 年間（月曜～金曜の午前 8 時～午後 5 時）、2 営業日オンサイトでの対応/部品交換</li> <li>Oracle Premier Support for Systems には、Oracle Linux サポートと、2 時間のオンサイトハードウェアサービス応答を伴う 24 時間年中無休のサービスが含まれます（サービスセンターの近さによる）。</li> <li>オペレーティング・システムに対する Oracle Premier のサポート</li> <li>Oracle の顧客データとデバイスの保存期間</li> <li>システム設置サービス</li> </ul>

## コンポーネント/属性

## ORACLE PRIVATE CLOUD APPLIANCE X8-2 の詳細

- Oracle 自動サービス要求 (ASR)

<sup>1</sup>参照されているすべての規格および認証は最新の公式バージョンに対するものです。詳細については、営業担当までお問い合わせください。

<sup>2</sup>他の国の規制/認証が適用される場合があります。

<sup>3</sup>規制および認証への準拠は、シェルフ・レベルのシステムに対してのみ取得されました。

## お問い合わせ窓口



Oracle Digital

**TEL** 0120-155-096

**URL** [oracle.com/jp/contact-us](https://oracle.com/jp/contact-us)



[blogs.oracle.com/oracle-systems](https://blogs.oracle.com/oracle-systems)



[facebook.com/oracle](https://facebook.com/oracle)



[twitter.com/oracle](https://twitter.com/oracle)

## Integrated Cloud Applications & Platform Services

Copyright © 2019, Oracle and/or its affiliates. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、

ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクル社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される

SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。0618

 Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment

ORACLE®